

インターカルチュラル・カフェ 第2回	
開催日時	2023年3月17日(金) 15:00~16:30
テーマ	多様な地域の異文化間教育から考える～アジアの異文化間教育から考える～
登壇者	金美連会員(熊本学園大学) 金井里弥会員(仙台大学)
開催状況	
参加者数	総数 24名 ※zoomにアクセスした最大参加者数。
企画運営	企画委員: 渋谷恵(全体進行)、伊藤亜希子(補助)
進行	趣旨説明 各登壇者の自己紹介(研究紹介) ○本日のテーマ 「アジアの異文化間教育から考える」をテーマに、金会員から「韓国社会の多文化かと学校教育」について、金井会員から「シンガポールにおける宗教間理解」について話題提供をいただいた。その後、渋谷委員より「研究する上で比較の視点からどのような知見が得られているか」「それぞれの国のこうした教育研究に海外の研究がどのように参照されたり、影響を及ぼしたりしているか」という質問が投げかけられ、応答が進められた。また参加者より「インターカルチュラル」や「社会統合」といったタームが各国でどのような文脈で用いられているのか、といった質問がなされ、各国固有の文脈や翻訳の困難さについてコメントがあった。
振り返り	前回のヨーロッパに続き、今回は同じテーマながら地域を変え、アジアでは「異文化間教育」ないし「異文化間教育的」なものがどのように議論になったり、実践が行われているのか、ということで2名の会員から話題提供を受けた。 前回は登壇者が4名と多かったため、今回は2名とし、ゆったりと話題提供やその後の質疑の時間をとることができた。金会員、金井会員ともに焦点を絞った内容の濃い報告内容を準備してくださり、参加者の多くが興味深かったとアンケートに回答している。また、「カフェ」ということで飲食しながら気楽に、という点を最初に渋谷委員が打ち出したことで、柔らかな雰囲気でも終始進められたように思われる。参加者から「気楽な雰囲気で行われていたことがとても好きです」という声も挙がり、構えることなく話を聴き、質問したい人は質問するということができた回になった。 今後希望するテーマに、アメリカ、カナダ、オーストラリアなどの古典的な多文化主義国家の異文化間教育に関わる現状を聞いてみたいとの声が事後アンケートで

	<p>挙げられた。そのため、次回は北米・オセアニアを対象に研究を行っている会員から話題提供を得られないか検討することとした。</p> <p>カフェの最後でフロアから直接声を発しての質問やコメントもあり、次回以降、終わってから15分程度のアフタートーク（カメラオンで積極的に交流）の時間を設定してもいいのでは、という意見が委員と話題提供者の間で挙がった。今回のように2名の話提供でゆったり話す時間をとりながら、アフタートークの設定も次回は試みたい。</p> <p>話題提供者の金会員からは入会して日が浅いにもかかわらずこのような形で発表できたこと、金井会員からは仕事や子育てで学会活動から遠ざかっていたなか久しぶりに学会活動できたことを喜んでおられた。企画委員の一人として嬉しく思うとともに、学会員であることのメリットを感じてもらおう機会の創出にもなったと感じた。</p> <p style="text-align: right;">（文責・伊藤）</p>
<p>アンケート 抜粋</p>	<p>○感想</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 韓国、シンガポールと興味を持っていた国で、その状況を聞くことができ、大変興味深い内容で、学ぶことが多かったです。ありがとうございました。</li> <li>・ 同じアジアの国ながら日本が学ぶべきことを具体的に学べた。</li> <li>・ 韓国とシンガポールの多文化実践を興味深く聞かせていただき、ありがとうございました。しかも、気楽な雰囲気で行われていたことがとても好きです。</li> <li>・ 自由で気兼ねのない雰囲気での研究のお話ができる機会は貴重だと思いました。ぜひまた参加させて頂きたいです。</li> <li>・ 特にシンガポールの宗教理解教育に興味深かったです。宗教間の理解は難しさが伴うと思うので、その教育が実社会でどのように機能しているのか、また、現地の人々の感覚として、実際に他宗教をどのように受け止めているのか気になりました。</li> </ul> <p>○今後希望するテーマについて</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ アメリカ、カナダ、オーストラリアなどの古典的な(?)多文化主義国家の異文化間教育にかかわる現状などを聞いてみたいです。</li> <li>・ 日本の cross-cultural communication の実態</li> <li>・ 実践報告が聞きたいです。</li> <li>・ 今回は多文化共生における学校教育の試みを紹介していただきました。一方、自分の研究テーマである継承語教育では、今の日本ではマイノリティによる努力の方が多様な気がします。世界中の継承語教育について興味を持っています。</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 宗教教育、宗教理解教育</li></ul> <p>○企画委員会への要望、ほか</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 頑張ってください。</li><li>・ 今回のように、大学の春休み（or 夏休み）の期間に実施して頂けると参加しやすいです。この度は、貴重な機会を頂き、本当にありがとうございました。（金井）</li><li>・ 非会員も参加できる企画があれば今後も参加したいです。</li></ul>
--	---